



日本共産党品川区議会議員

# 週刊 みやざき かつとし 俊一

2010年12月19日 No.733

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

## 住民の要望に応える医療を実践

# ゆたか診療所60周年

往診に出かける権守光夫ゆたか診療所所長(10日)



ゆたか診療所(品川区豊町4丁目)が2010年10月で開設60年を迎えました。私(みやざき)は医師をはじめ職員と患者さん、地域のみなさんが力を合わせてつくってきた60年の歴史に心から敬意を表するとともに今後の発展を大いに期待しています。

ゆたか診療所は1950年(昭和25年)の創立以来60年、第一線の医療機関として医療活動を推進してきました。大田病院や三ツ木診療所、城南保健生協などと連携して地域医療に取り組み、外来(日曜・祝日・夜間)、往診、健診で地域住民の生命と健康を守っています。

07年5月のベッド閉鎖にともない24時間在宅医療の支援を強化するとともに、08年5月に品川区内で2ヶ所目のリハビリ・スタッフ常勤のデイケアを開設。専任のケア・マネージャーが複数いる介護保険室も併設し、介護部門の要求にも応じられるようになりました。また、2階の一室に地域の人の集う「ゆたかの家」も開設しています。

# 訪問看護St開設は「公約実現」の第1号

病院の経験を  
生かして全力



私(みやざき)は1979年10月、ゆたか病院(現ゆたか診療所)の事務に就職し6年間勤務。その後転勤して、大田病院などで15年間働いてきました。この医療機関での経験が現在の議員活動の原点になっています。

ゆたか病院に就職して受付や保険請求など事務仕事のほかにも患者会活動や医療保障制度の署名活動、原水禁運動などさまざまな活動にびっくりしました。その後は私自身が署名を集める側になりました。

さらに、高血圧や糖尿病などの治療を中断している患者さんに連絡、継続を呼びかける「中断患者チェック」を始めたり、看護婦さんや薬剤師さんらと協力して患者さん向け学習リーフレット「病気のはなしシリーズ」の作成など今でも忘れることが

## 特養ホーム増設など、医療・介護充実へ全力

私は95年の選挙で初当選、議員になって最初の質問が訪問看護ステーションの増設についてでした。当時、品川区は訪問看護ステーションは品川区と荏原の両医師会立だけ、ゆたか病院と三ツ木診療所は訪問看護20年の経験がありましたが開設を認めませんでした。利用希望者が大田区のステーションに申し込む事態に、私は議会で再三取り

## ゆたか診療所 60周年記念祝賀会

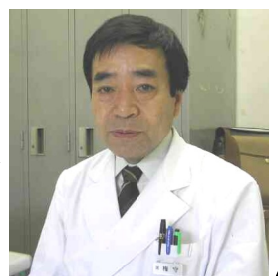
ゆたか診療所は、下記のとおり開設60周年記念祝賀会を計画しています。地域住民・患者さんに参加を呼びかけています。

日時：2011年1月29日(土)  
午後3時(午後2時30分開場)

会場：きゅりあん(大井町駅前)  
7階イベントホール

会費：3,000円

地域住民・患者のみなさん、ぜひご参加ください。



上げ、ついに96年に西品川訪問看護ステーションが、97年にゆたか訪問看護ステーションが実現しました。これが議員として公約実現の第1号です。

私は、特養ホームへの歯科診療室の設置、子ども医療無料化の拡大に取り組み中学生まで無料化実現。特養ホームは11年ぶりに八潮への開設(来年5月)に続き杜松小跡への開設が実現することになりました。さらに、

お困りのときは、いつでも

ご相談ください

みやざき克俊事務所  
Tel 3786-6674

無料法律相談は  
1月14日(金)

入所待ち595人という状況のなかで特養ホームは大規模な施設にこだわらず小規模でも必要数を早急に建設するよう提案。高齢者の医療無料化の提案、区民健診を他区で受診可能にする改善提案など医療・介護充実へがんばっています。